

ものごとぐごあづかりにながはしより御申付、御ふるまひはとくせんるん申つけらるゝ、十八日太かうのひでより御さんだいありづねの御所にて三ごんまるる。○中太かうよりねんとうの御禮白がね五十まいはく^{白島}てう三ツ、おんたちしん上あり、ひでよりねん頭の御禮白がね五十枚、御なか百ははくてう三ツ、御たちしん上、大くら卿より二十でう^略中玄ん上^略中玄んわうの御かたへ太かうより白がね廿枚、はくてう二ツ、御たちまるる、ひでよりから白がね廿まいはく^{白島}てう二ツ、御たちまるる、杉原十束、これもひでよりまるる、ざゆごうの御かた、女御の御かた、そのほか女中しゆ、いつものごとくおんみやあり、すゑしゆ御物し女しゆまで、みなくのこらす御みやあり、めでたしするくとてんきよくさんだいにてめでたきよしてんそうしゆ御申あり。

〔義演准后日記〕慶長三年四月十八日、太閤并秀頼御參内、當年始也、御花見ニ付御延引歟、

〔孝亮宿禰記〕慶長五年正月十一日丙辰、太閤若君秀頼卿爲御名代、大津宰相參内被申御禮、

〔御湯殿の上の日記〕慶長十三年正月廿三日、ひでより○臣 豊ねんとうの御禮に、いちのかみのぼり、御たちおりかみ御むまだい五十枚まるる、

〔實麗卿記〕文久三年正月二日己酉、酉刻計更出御、會津中將有御對面、賜天盃、入御之後、於小御所取合廊下兩役列座賜紅打御組、大江俊堅役送之、三日庚戌、今日松平相摸守、因州松平長門守、長州松平土佐守、土州松平伊豫守、豫州毛利淡路守、德山等參内、申刻出御、有御對面、賜天盃、入御之後、相摸守、土佐守、長門守等賜御衣、御製如昨日、十五日壬戌今日尾張前大納言參内、有御對面、賜天盃云々、

〔議奏言渡〕正月三〇文久二日、松平肥後守參上伺天氣年甫御禮申上、且同人上京ニ付宜申上旨、大樹口上等武傳被示以駿河申入候、肥後守不存寄結構御沙汰を蒙候上、厚恩賜、重疊畏入、御禮申上旨、